

夏空ワークショップ 2013 を開催

平成 25 年 8 月 10 日 (土) 午前 10 時から午後 2 時 30 分まで、市立西脇病院では看護
大学生 1~3 年生、看護専門学校 1・2 年生を対象に「夏空ワークショップ 2013」を開
催しました。

10:00 オリエンテーション

橋詰看護主任の司会でワークショップスタート

- ・ 資料の確認
- ・ 本日のスケジュール
- ・ アンケートのお願い
- ・ 岩井副院長、小林看護次長あいさつ



10:10 アイスブレイキング

杉山Drと佃看護主任によるコミカルな他己紹介で
学生たちの硬い雰囲気^{たご}が和む。



学生たちは二人一組になってお互い
を紹介し合う。



10:40 DEEP HOSPITAL TOUR①

手術室



DEEP HOSPITAL TOUR②

へリポート



DEEP HOSPITAL TOUR③

免震構造と放射線治療室



11:30 特別講義『がん治療の最前線』

岩井副院長と藤本看護主任による特別講義が行われました。

- ・ 学校では学べない最先端の技術が学べ、興味深かった。
- ・ 死因原因として上位である“がん”ですが、実際のことがよく分らなかったのので学べて良かった。
- ・ よいとされている治療にも副作用があるということが分かりました などのご意見をいただきました。



12:00 ランチタイム

黒っこマザーズによる心づくしのお弁当は大人気、お弁当やケーキが美味しかったとのご意見も数多くありました。



13:00 スペシャル・ディスカッション

『がん患者と向き合って』

杉山Dr著の「みかん」は、本人が研修医としてある県立病院の泌尿器科で研修を受けていたころの作品である。

先輩医師のがん患者・田中さんと杉山研修医のがん患者・鈴木さん

の人間模様を臨床医師の立場から客観的に描いた作品から

- 1 生を得るか死ぬかの境界線
- 2 家族と患者のスピリチュアルなつながり
- 3 患者と医療者の関係性
- 4 臨終という経験がもたらすもの

について討議を深めていきました。

